

「とくしま目安箱」等に寄せられた建設的な意見・提言（全7件）

提言手段	提言	
	テーマ	概要
目安箱	県のイメージアップについて	世界観光地ランキングで第6位に四国が選ばれている。四国の観光地もだが、お遍路さんの文化が関心を集めている。世界から観光客が訪れると思われるが、観光ルートやお遍路道、お接待、民宿等のPRが必要。 めったにないチャンスであるため、日本をはじめ世界に向けてTVコマーシャル等でアピールし、一気に県のイメージアップ、観光客の誘致、住みたいまち等のイメージを上げ、人口減少を食い止める手立てとするような、総合的な施策を考えているのか。
目安箱	自転車の活用について	私は自転車に乗るのが好きだが、遠方に行くには不便だなと感じることがよくある。ドイツでは、列車に自転車専用車両があり、自転車を乗せて移動できた。列車で移動し、駅から自転車で動ければ移動範囲が広がり、観光やちょっとしたおでかけでも更に楽しめると思う。 ただ、なかなか実現できないかもしれないため、観光地の駅周辺や街中におけるレンタサイクルの設置を提案する。ハワイなどによくあるが、無人のレンタサイクルスポットがあればすごく便利だと思う。支払はキャッシュレス決済が使い、どこでも借りたり返したりができ、スマホでサイクルスポットの検索やレンタサイクルの残数や返却が可能か確認できたりすれば、インバウンドの獲得にもつながるのではないかと思う。
目安箱	自転車王国について	しまなみ海道のように、鳴門大橋の下の部分を自転車で走れるようにして欲しい。それができてはじめて自転車王国と名乗れると思う。淡路島と鳴門をつないで、観光の目玉にしてはどうか。せっかく資源があるのに使わないのはもったいない。
目安箱	プラごみゼロスマート宣言について	プラごみゼロスマート宣言やSDGsへの取組みを宣言しているのは素晴らしいことであり、応援したいと考えているが、徳島県は取組みとしてはまだまだで、もっと積極的に行って欲しい。 徳島県のいろんな部署、事業などでクリアファイルの提供や、うちわの配布、プラ製キーホルダーの配布など、粗品や景品として配布を行ってはいないか。プラごみ、プラスチックやペットボトルの消費についてもっと考えて事業を行い、循環型社会への移行を早く進めて欲しい。
わくわくトーク	子育てに係る「父親支援」について	産後から男性が子育てに主体的に参加することが当たり前の社会になってほしいと考えている。産後であれば妊娠中、育休復帰であればその前に、父親もきちんと育児について学び、実践できるようにするための「父親支援」を徳島でももっと広げて行って欲しい。
目安箱	県立木のおもちゃ美術館について	木のおもちゃ美術館の入場者数制限に伴う受付方法について、見直しをお願いしたい。 先日訪問した際は、建物前での直接受付だったが、これだと遠くからの訪問者はとても入りづらく、小さい子どもを連れて早朝から出かけるのは大変である。県立の施設で、県内の居住地によって利用のし易さに差が出ることに對して不満を感じる。 徳島県はネット環境の良さで積極的に県外企業の誘致をしていたと記憶している。感染対策という意味であれば尚更、そういったものを利用し、webでの受付等、もう少し多くの人にとって利用しやすい受付方法を検討していただきたい。
目安箱	とくしま水物語（仮称）のパンフレット作製について	徳島には、無料で水が汲めるところが数カ所あるが、それを紹介しているパンフレットはあまりないと思う。（例として、南小松島駅前の「のぞみの泉」や「宝寿水」や、徳島市蔵本駅前の「蔵清水」など、ポンプを汲み上げているものがほとんどかもしれない。） 愛媛の伊予西条のように豊富に湧出はしないけれど、徳島県民・日本国民に知ってもらえるようなパンフレットを作製して欲しい。